

## 健康と優しさが循環する「健康循環社会」を目指すアプリ「かわさきTEKTEK」

川崎市では、働き盛り世代を中心に運動に取り組む人が少ない傾向がみられることから、ウォーキングで市民の健康意識を高め、更に、その運動の成果を地域社会や子ども達に還元するスマートフォンアプリ「かわさきTEKTEK」をリリースしました。

アプリの仕組みは、参加者がアプリをダウンロードしたスマートフォンを携帯して歩くと、その歩数に応じたポイントが付与されます。そのポイントは任意の市立小学校(特別支援学校を含む)を選んで寄附することができます。学校では寄附されたポイント数に応じて市から応援金(原資として企業の協賛金や競馬・競輪の収益金等を活用)を受け取り、子ども達の学校生活を充実させるために使います。また、参加者には寄附したポイントに応じてチケットが付与され、様々な協賛企業等からの応援特典への抽選に応募出来る仕組みになっています(詳細は後述)。

応援金は、学校ごとの児童数に応じて上限を設け、使い道は基本的に児童会などで子ども達が話し合せて事業開始前に決めました。応援金の使い道には、猛暑対策としてのミストシャワーの設置や、雨の日や暑くて外で遊べない日に室内で使える遊び道具、飼育小屋の改修、図書館や学級文庫の充実など子ども達が普段の学校生活で感じている「あったらいいな」が並んでいます。これらの希望を学校ごとにアプリ内で掲示することで、参加者が学校を応援するモチベーション向上に繋がっています。

また、この事業には同市を代表するプロスポーツクラブの川崎フロンターレ(サッカー)と川崎ブレイドサンダース(バスケットボール)を筆頭に、50社を超える企業・団体が協賛しています。特に、応援特典においては「体験もの」に力を入れ、フロンターレは「選手と交流できるクラブハウス体験会」、ブレイドサンダースは「ミニバスチームや

中高の部活動を対象とした選手がバスケを教えに来る特典」、その他の企業も、「五輪出場選手の所属する女子陸上競技部による小学生ランニング教室」「ボーリングのプレー券」といった健康やスポーツ関連の他に、「電車の操車場で洗浄中の車両への乗車体験」「キムチづくりセミナー」などのユニークなものもあります。その他にも食品や飲料などの景品も揃っています。

「かわさきTEKTEK」という名前には、「T:楽しく E:笑顔で K:健康に T:貯まった E:笑顔は K:子ども達に」との意味が込められています。当初の目標参加者数は3年間で同市の人口の1%となる15,000人を目指していましたが、開始から2カ月半で35,000人(うち30~50代が70%以上)を突破しました。個人のSNS等で参加者が自主的に事業を広報するなどの大きな反響を呼んでいます。

この事業の強みとして毎日2,000歩からポイント付与することで参加のハードルを下げていることや、小学校1年生は毎年入学してくるので、新たなユーザーを獲得できること等があります。親が歩いて健康づくりに取り組んでいる姿を見た子ども達にも将来に向けた健康の大切さを学んでもらい、健康が取り持つ好循環が続いていくことが期待されます。川崎市内在住の方、市内に通学されている方は参加してみたいかがでしょうか。

